

(1) 特別課題研究

シンクロトロン光利用案件組成研究 (1/1)		NO. 1
いぶし瓦炭素膜界面の Fe 元素の及ぼす影響について (1/1)		
研究機関／担当者	本部（共同研究支援部） 三河窯業試験場	村井 崇章、村瀬 晴紀、福岡 修、中西 裕紀、中尾 俊章 加藤 裕和、山口 敏弘
研究の概要	研究の内容	原料の配合を変え素地を焼成し燻化を行った試料を用いて、シンクロトロン光によるX線吸収分光を行い、Feの化学状態について分析を行う。いぶし瓦炭素膜の構造についてはラマン分光により評価を行う。さらにあいちSRにて燻化を模擬した実験を行い、燻化中のFeの化学状態の変化のその場測定を行う。
	研究の目標	いぶし瓦に含まれるFeの状態をシンクロトロン光により分析評価することで、強固な炭素膜を形成するためのFeの働きを明らかにし、最適な燻化条件を確立することを目標とする。
	備考	[県] シンクロトロン光利用案件組成研究開発活動費

屋根の防水性能に関する評価試験方法の研究開発 (1/1)		NO. 6
圧力箱方式による防水性能試験と水密性評価 (1/1)		
研究機関／担当者	三河窯業試験場	深澤 正芳、山口 敏弘、加藤 裕和
研究の概要	研究の内容	屋根材としてJ形の瓦を用い、圧力箱方式の防水性能試験を実施して、瓦屋根上面、裏面の圧力、野地板を用いた場合は瓦屋根裏面と野地板の間の圧力を測定し、試験体の試験条件と試験結果を検証する。圧力測定その他、水密性の評価基準の一つに、浸水量の測定があることから、浸水量を測定し、送風散水方式との相関を求める。
	研究の目標	圧力箱方式の防水性能試験を実施し、圧力や浸水量を測定する。送風散水方式の防水性能試験と同量の浸水量を発生させる圧力箱方式の試験方法を確立する。圧力箱方式の浸水量の結果から、送風散水方式の結果の予測ができるようにする。
	備考	[県] あいち産業科学技術総合センター管理運営事業費